



# SNSCだより



2023年1月  
NO.440

1月10日  
新型コロナウイルス感染対策継続中

部員	86名	新入会	(退会)
U12	11名		
U11	16名		
U10	21名		退会(土井 翔太)
U9	16名		
U8	13名	加戸 亮 カト リョウ	西落合
U7	9名		



SNSCの皆さん、明けましておめでとうございます。  
今年もよろしくお願いします。

さて、あと3カ月で皆さんは新しい学年での活動になりますね。  
のこり少ない3カ月で、次にむかって、じゅんぴをしていきたいですね。  
新しい学年で、どんなことをしていきたいですか？  
どんなサッカー選手になりたいですか？

いろいろ考えてくださいね！

悩んだり考えたりすることはとても大切です。  
1つアドバイスをするなら、サッカーでいえば、  
上手い選手のプレーを見てマネをします。

今、日本にはJリーグという素晴らしい環境があります。  
実際に見に行けなくても、ダゾーンという配信でもみれます。  
ヴィッセル神戸だけではなく、いろんなチームも簡単に見れる時代になりました。  
見てマネをすると、それを試合で活用したり、自分の能力にできるからです。

今、ここに書いているのは、1つですが、  
まだまだ、たくさん、アイデアはあるし、時間もあります。

今からできるじゅんぴを少しずつしていきましょう！



「サッカーを通じて子どもたちに笑顔を♪」 【手をかけ過ぎず、眼をかけて】  
大切な子どもたち！まずは健康第一！ 育てて成長 声かけ励まし支えあいましょう！  
BGM

2023年のスタート  
“わがごと”

子ども達、保護者のみなさま今年もよろしくお祈りします。

『いつも通りに今日もリズムジャンプから始まった。朝から笑顔で  
ジャンプする子、  
まだまだねむたそうにとにかくジャンプをする子・・・。  
今日はどんな練習をしようかな、  
そんなことを考えていたその時だった。  
“ご”という地鳴りとともな落合グラウンドが揺れはじめた。  
立ってられない。  
「みんな！その場で小さくなりなさい」』

今年も1月17日がきました。上に書いた“小説”？は、  
有持コーチが主人公になって、  
もしもみんなと一緒にサッカーをしている時に地震が起こったら、  
ここからどんな動きになってくるのだろうと  
“わがごと”になって考えていく防災学習です。

もしも“自分だったら”という考え方は、地震だけではなく、  
交通事故、勉強、サッカー、いろいろなことで役立つものです。  
きっかけは、目の前にたくさんあります。

“自分だったら”  
この考え方、子どもも保護者のみなさんも、これからの時代、  
とても大切になってくる力だと思います。一緒に育てましょう。

監督 有持哲治

